

脱炭素経営の進め方 【虎ノ門】

虎ノ門開催

虎ノ門
キャンパス

経営戦略・企業経営

～カーボンニュートラルを取り入れた経営計画を策定し、選ばれる企業へ転身する!～

校外研修の最新情報は

こちら⇒



研修のねらい

得意先や関係先から脱炭素の取組みを求められる企業が増えていますが、脱炭素の取組みが必要とわかっていても、何をすればよいのか？何から手をつけたらいいのか？どのレベルまで求められるのか？などよく理解されていないのが実情といえます。

本研修では、カーボンニュートラルが求められる背景を詳しく理解し、脱炭素計画の策定、対策の検討、ロードマップの策定まで事例を通じて学びます。研修のまとめとして、自社のアクションプランを作成し、脱炭素経営への一歩を踏み出します。

研修のポイント

- ☑ 地球温暖化の状況、世界情勢、国際的な取組みから「なぜ、今、カーボンニュートラルが求められているのか？」が理解できます。
- ☑ 他社事例を通じて、脱炭素計画～対策～ロードマップ策定までを学びます。
- ☑ 事例を踏まえて、自社の脱炭素経営に向けたやるべきこと（アクションプラン）を作成します。

研修期間

2023年

9/20(水)、9/21(木)

対象者

経営幹部、管理者

- ・CO₂削減に取り組んでいる方、検討している方
- ・カーボンニュートラルを通じて企業価値の高め方を学びたい方
- ・CSR担当者

定員 20名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業基盤整備機構 本部 9階会議室

東京都港区虎ノ門3-5-1
虎ノ門37森ビル

月日	時間	科目	内容
9/20 水	9:20~9:30	オリエンテーション	
	9:30~11:30	カーボンニュートラルが求められる背景	脱炭素経営が求められる背景を学び、カーボンニュートラル達成が求められる今後の経営環境について、グループディスカッション等を通じて理解します。 ・カーボンニュートラル(CN)が求められる背景 ・国際的なイニシアチブ(TCFD、SBT、RE100) ・気候変動枠組み条約、京都議定書とパリ協定、日本のカーボンニュートラルの目標 ・カーボンバジェット(炭素予算)の考え方 ・脱炭素経営の必要性、SDGsと脱炭素 ・自社を取り巻く環境の変化
	11:30~16:30 (昼休 12:30~13:30)	脱炭素計画策定のステップ【事例演習】	事例を通じて、脱炭素経営計画策定のステップを学びます。 ・脱炭素経営計画策定のステップ ・脱炭素経営計画を策定する 1) 全社のCO ₂ 排出量計算 ・CO ₂ 排出量算出方法 ・CO ₂ 排出量の算出演習 2) 工程毎のエネルギー使用量、CO ₂ 排出量を計算する ・電流値の測定、電力量の計算 ・エネルギーフローの作成、CO ₂ 排出パレート図の作成 3) SBTに準拠した目標の設定 ・目標設定はバックキャストイング ・SBTに則した削減目標を算出する 4) 改善策の検討 ・CO ₂ 削減対策の考え方 ・省エネ、電化、排出係数の低減 ・カーボンニュートラルとは ・脱炭素対策の勘所 ・他社の脱炭素、省エネ事例、サイトの紹介 ・脱炭素対策の検討 ・想定効果と目標値の確認 ・目標達成できない場合の考え方 ・プロセスフローの見直し、ビジネスモデルの見直し など 5) ロードマップの策定 ・2030年および2050年に向けたロードマップの作成 ・見直しサイクル(PDCAサイクル)の作成
9/21 木	9:30~12:30 (昼休 12:30~13:30)		
	13:30~16:30	脱炭素経営に向けたアクションプランの作成	今まで学んできた脱炭素の計画策定を踏まえて、自社の脱炭素経営に向けたアクションプランを作成します。 ・脱炭素に活用できる制度や補助金 ・中小機構の制度 ・自社のアクションプランの検討 ・全体発表
	16:30~16:40	修了証書の授与	

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



合同会社サカタ経営 代表社員

坂田 卓也(さかた たくや)

日本大学大学院理工学研究科(機械工学専攻)を修了後、大手印刷会社・蓄電システム開発会社を経て、経営コンサルタントとして独立。経営工学(IE)を活用した生産性改善、品質管理(QC)・品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化等のコンサルティングを行う他、省エネルギー診断やSBTの計画策定など脱炭素に係わる取り組みにも従事。印刷関連業・金属加工業・食品加工業・繊維業など幅広い業種の支援に携わっている。著書に「35歳からでも遅くない!夢をかなえる大人の家計簿」(自由国民社)。中小企業診断士。



コース名	脱炭素経営の進め方【虎ノ門】 ～カーボンニュートラルを取り入れた経営計画を策定し、選ばれる企業へ転身する！～				
研修のねらい	得意先や関係先から脱炭素の取組みを求められる企業が増えています。脱炭素の取組みが必要とわかっていても、何をすればよいのか？何から手をつけたいのか？どのレベルまで求められるのか？などよく理解されていないのが実情といえます。 本研修では、カーボンニュートラルが求められる背景を詳しく理解し、脱炭素計画の策定、対策の検討、ロードマップの策定まで事例を通じて学びます。研修のまとめとして、自社のアクションプランを作成し、脱炭素経営への一歩を踏み出します。				
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化の状況、世界情勢、国際的な取組みから「なぜ、今、カーボンニュートラルが求められているのか？」が理解できます。 他社事例を通じて、脱炭素計画～対策～ロードマップ策定までを学びます。 事例を踏まえて、自社の脱炭素経営に向けたやるべきこと（アクションプラン）を作成します。 				
会場	中小企業基盤整備機構 本部 9階会議室（東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル）				
研修期間	2023年9月20日(水曜)～9月21日(木曜)〈2日間〉 (詳細)第1回2023年9月20日(水曜),第2回9月21日(木曜)				
対象者	経営幹部、管理者 ・CO2削減に取り組んでいる方、検討している方 ・カーボンニュートラルを通じて企業価値の高め方を学びたい方 ・CSR担当者	定員	20名	受講料	22,000円

日付	時間	科目	内容	講師
9/20 (水)	9時20分～9時30分	オリエンテーション		合同会社サカタ経営 代表社員 坂田卓也
	9時30分～11時30分	カーボンニュートラルが求められる背景	脱炭素経営が求められる背景を学び、カーボンニュートラル達成が求められる今後の経営環境について、グループディスカッション等を通じて理解します。 <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル(CN)が求められる背景 国際的なイニシアチブ（TCFD、SBT、RE100） 気候変動枠組み条約、京都議定書とパリ協定、日本のカーボンニュートラルの目標 カーボンバジェット(炭素予算)の考え方 脱炭素経営の必要性、SDGsと脱炭素 自社を取り巻く環境の変化 	
	11時30分～16時30分 (昼休 12時30分～13時30分)	脱炭素計画策定のステップ 【事例演習】	事例を通じて、脱炭素経営計画策定のステップを学びます。 <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素経営計画策定のステップ 脱炭素経営計画を策定する 1) 全社のCO2排出量計算 CO2排出量算出方法 CO2排出量の算出演習 2) 工程毎のエネルギー使用量、CO2排出量を計算する 電流値の測定、電力量の計算 エネルギーフローの作成、CO2排出パレート図の作成 3) SBTに準拠した目標の設定 目標設定はバックカスティング SBTに則した削減目標を算出する 4) 改善策の検討 CO2削減対策の考え方 省エネ、電化、排出係数の低減 カーボンニュートラルとは 脱炭素対策の勘所 他社の脱炭素、省エネ事例、サイトの紹介 脱炭素対策の検討 想定効果と目標値の確認 目標達成できない場合の考え方 プロセスフローの見直し、ビジネスモデルの見直し など 5) ロードマップの策定 2030年および2050年に向けたロードマップの作成 見直しサイクル(PDCAサイクル)の作成 	
9時30分～12時30分 (昼休 12時30分～13時30分)				
9/21 (木)	13時30分～16時30分	脱炭素経営に向けたアクションプランの作成	今まで学んできた脱炭素の計画策定を踏まえて、自社の脱炭素経営に向けたアクションプランを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素に活用できる制度や補助金 中小機構の制度 自社のアクションプランの検討 全体発表 	
	16時30分～16時40分	修了証書の授与		

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
合同会社サカタ経営 代表社員 坂田卓也	日本大学大学院理工学研究科（機械工学専攻）を修了後、大手印刷会社・蓄電システム開発会社を経て、経営コンサルタントとして独立。経営工学（IE）を活用した生産性改善、品質管理（QC）・品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化等のコンサルティングを行う他、省エネルギー診断やSBTの計画策定など脱炭素に係わる取り組みにも従事。印刷関連業・金属加工業・食品加工業・繊維業など幅広い業種の支援に携わっている。著書に「35歳からでも遅くない！夢をかなえる大人の家計簿」（自由国民社）。中小企業診断士。

▼ 申込方法

中小企業者の方であればどなたでも受講できます。
インターネットにてお申込みください。

※中小企業の定義はHP等でご確認いただくか、当校までお問合せください。
士業・経営コンサルタント等の方はお断りさせていただく場合がございます。
※応募者多数のためキャンセル待ちとなる場合がございますので、お早めにお申込みください。
応募状況は、HPでもご確認いただけます。

▼ お問い合わせ先

中小企業大学校東京校 企業研修課

〒207-8515 東京都東大和市桜が丘2-137-5

TEL 042-565-1207 E-mail to-kenshu@smrj.go.jp

▼ 受講決定と受講料の納入

受入決定後、開講日の1.5ヶ月前頃から貴社の連絡担当者様あてに「受講受入の決定通知書」等を送付いたします。受講料は指定日までにお振り込みください。
(恐れ入りますが、振込手数料は貴社でご負担ください)

※納入後の受講料は、キャンセルされた場合にも一部または全額を申し受けますので予めご了承ください。

※より多くの企業の皆様を受講できるよう、原則として1コースあたり1社2名様までのお申し込みといたします。(2名を超える場合はキャンセル待ち扱いといたします)

▼ 交通アクセス

中小企業基盤整備機構 本部 9階会議室 (港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル)



東京メトロ日比谷線 ●虎ノ門ヒルズ駅 A1、A2出口から徒歩3分

●神谷町駅4b出口から徒歩6分

東京メトロ銀座線 ●虎ノ門駅2番出口から徒歩10分

※受講生用の駐車・駐輪設備がございますので、受講にあたっては電車・バス等の公共交通機関でお越しください。

インターネットによるお申し込み方法

1 ホームページにアクセス

受講したい研修が決まったら、中小企業大学のホームページにアクセス。

【東京校ホームページ】

<https://www.smrj.go.jp/institute/tokyo/index.html>

中小企業大学校 東京校 ※PCでの申込みが便利です。

2 受講申込み ※令和5年度開講コースから、「Web申込み」でカンタン！ 便利に！

東京校トップページ下部「受講お申込み」をクリックします。



3 Web申込み

「Web申込み」をクリック。 ※研修詳細ページからも申込みできます。



ご希望の
研修コースを
プルダウンして
お選びください。

以下必要事項を
ご記入ください。



4 確認画面 ▶ 申込み実行

申し込み画面に必要事項を入力後「確認画面へ」をクリックします。



内容が正しければ、「申込み実行」をクリック。



申込完了後東京校から確認メールが送付されます。

※確認メールが届かない場合や確認メールの内容が異なる場合は、お手数ですが東京校までご連絡ください。

次回からのお申込みが簡単に！

Web企業IDの登録がおすすめ！

Web企業IDを登録することで、次回からのお申込みがより簡単に！ぜひ、この機会にご登録ください。

登録方法

受講申込みのページ「事務連絡担当者」欄にある「Web企業IDの登録」で「可」を選択してください。



- ・初回お申込み完了後、ご登録のe-mailアドレス宛に「お申込み受付の確認メール」が送信されます。
- ・内容に従い、必ずWeb企業IDのパスワード設定をお願いします。
- ・次回以降は「Web企業IDを登録」欄にIDと設定したパスワードを入力しログインしていただくと企業情報などが自動で入力されるほか、過去の申込履歴をご覧いただけます。

個人情報の保護について

個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、主催機関及び共催機関で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者（業務委託先を除く）への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

反社会的勢力でないことの確約について

当社（当機関）は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的な勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的な勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。